

～次代へつなく豊かな農業・農協と地域社会をめざして～

2023-上期-

# JA佐渡の経営内容



人気の高い佐渡産いちじく

## プロフィール

設 立	平成5年8月1日
本店所在地	新潟県佐渡市原黒 300-1
出 資 金	22.8億円
総 資 産	1,212億円
組 合 員 数	14,666人 (正組合員6,672人・准組合員7,994人)
職 員 数	406人
店 舗 数	本店、支店6

(令和5年8月31日現在)

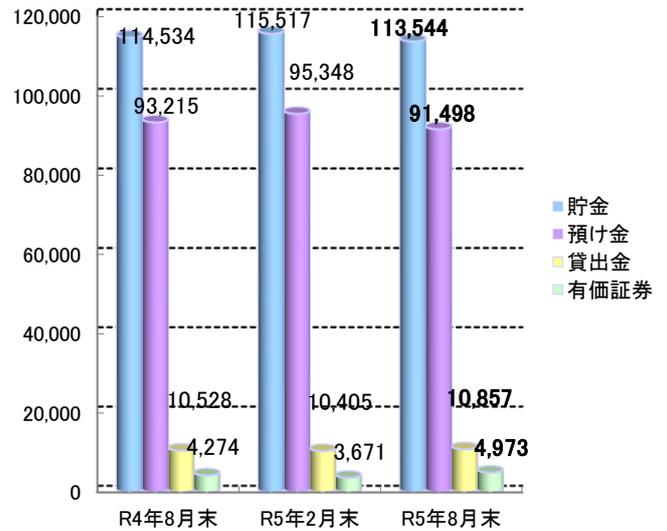
## 令和5年8月末 J A佐渡の経営状況は次のとおりです。

### 主要勘定の状況

(単位: 百万円)

	R4年8月末	R5年2月末	R5年8月末
貯金	114,534	115,517	113,544
預け金	93,215	95,348	91,498
貸出金	10,528	10,405	10,857
有価証券	4,274	3,671	4,973

- 貯金残高は、計画比 99.4%、前年比 99.1%となっています。年金振込額や給与振込額等の貯金源に大きな減少はありませんでしたが、相続による島外への資金流出等が主な要因です。
- 貸出金残高は、計画比 99.4%、前年比 102.4%となっています。新規実行額が、計画比 99.1%、前年比 103.1%、年間進捗率 52.4%とおおむね計画どおりとなりました。地方公共団体融資と住宅ローン新規実行により残高が増加したことが主な要因です。
- 有価証券は、有価証券の残高は、計画比 90.0%、前年比 116.4%となっています。

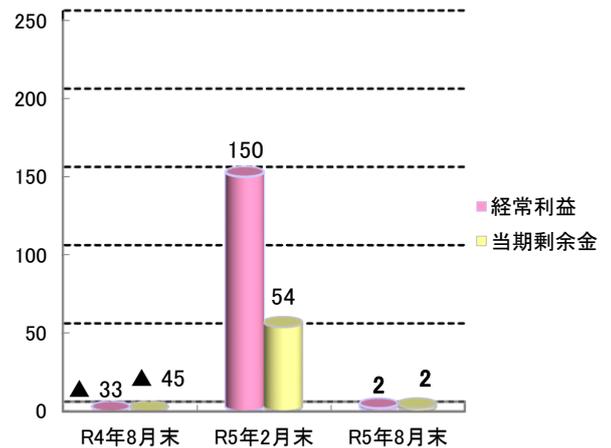


### 経営収支の状況

(単位: 百万円)

	R4年8月末	R5年2月末	R5年8月末
経常収益	3,828	6,193	1,765
経常費用	3,861	6,042	1,792
経常利益	▲33	151	▲27
当期剰余金	▲45	54	2
未処分剰余金	4	93	2

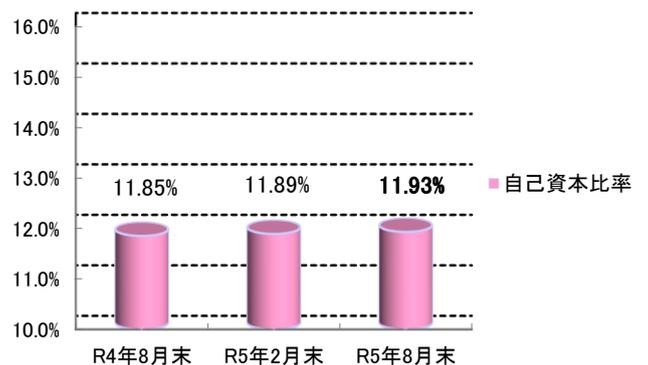
- 事業総利益は、8月末 1,208 百万円 (R4年度 2,620 百万円) となりました。事業管理費は、8月末 1,336 百万円 (R4年度末 2,543 百万円) となり、事業利益 8月末 △127 百万円 (R4年度末 77 百万円)、当期剰余金 8月末 2 百万円 (R4年度末 54 百万円) となりました。



### 単体自己資本比率(推計値)

(単位: 百万円)

	R4年8月末 (推計値)	R5年2月末	R5年7月末 (推計値)
自己資本額(A)	5,749	5,750	5,830
リスク・アセット(B)	48,517	48,335	48,838
自己資本比率 (A) ÷ (B) × 100	11.85%程度	11.89%	11.93%程度



※R5年は7月末基準で作成しています。

7月末の単体自己資本比率(推計値)は令和5年2月末の自己資本額・信用リスクアセット額・オペレーショナルリスク相当額を基準に、7月末までの資産増減から推計した信用リスクアセット増減額により算出しています。

### 自己資本比率の算出方法について

○出資金や利益準備金、諸積立金等の自己資本額を「分子」に、資産のリスクに応じてウエイトづけをした総資産等(リスク・アセット)を「分母」として算出しています。

※リスク・アセットとは…万-の場合、貸し倒れの危険性がある資産を項目ごとに貸し倒れのリスクに応じた掛目(リスクウエイト)を乗じた総額をリスク・アセットといいます。

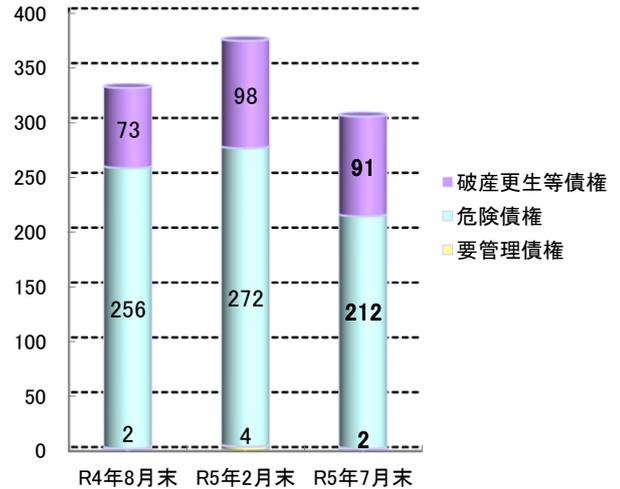
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

## 不良債権の状況

### 金融再生法開示債権(法施行規則第4条の規定によるもの)

(単位:百万円)

	R4年8月末	R5年2月末	R5年7月末
破産更生等債権①	73	98	91
危険債権②	256	272	212
要管理債権③	2	4	2
小計(①+②+③=A)	331	374	305
正常債権④	10,331	10,180	10,550
債権額合計(A+④=B)	10,663	10,555	10,856
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	3.10%	3.54%	2.80%



※R5年は7月末基準で作成しています。

## 開示債権と保全の状況(令和5年7月末)

当組合では、厳格な自己査定を実施し、担保・保証等による保全のない部分に対しては適正な償却・引当等を行うなど、資産の健全性の確保に努めています。

(単位:百万円)

自己査定と保全の状況				
債務者区分	残高A	担保等保全額B	貸倒引当金C	保全率(B+C)÷A
破綻先	—	92	57	100.0%
実質破綻先	149			
破綻懸念先	261	166	84	96.1%
要注意先	要管理先	1	0	69.6%
	その他要注意先			
正常先	13,314			
合計	14,119			

金融再生法開示債権(経済債権を含む)	
区分	残高
破産更生等及びこれらに準ずる債権	149
危険債権	261
3ヶ月以上延滞債権	—
貸出条件緩和債権	2
正常債権	13,706
合計	14,119

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

### 自己査定と保全の状況について

佐渡農協の基準により自己査定しております。

### 金融再生法開示債権について

1. 「破産更生等債権」とは、金融再生法に規定する「破産更生債権およびこれらに準ずる債権」のことで、破産・会社更生・再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「破産更生等債権」および「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権および貸出条件緩和債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないもので、「破産更生等債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

※R5年は7月末基準で作成しています。

### 有価証券等時価情報

(単位:百万円)

保有区分	R4年8月末			R5年8月末		
	取得価格	時価	評価損益	取得価格	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	-	-	-	598	597	▲0
その他	4,408	4,275	▲133	4,714	4,376	▲338
合計	4,408	4,275	▲133	5,312	4,973	▲339

(注)1. 有価証券の時価は期末時(2月末)における市場価格等によっております。

### 地域経済・くらしへの貢献

当JAの資金は、その大半が組合員のみなさまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を財源とし、これを生産拡大等の設備投資を必要とする組合員の皆様等に資金としてご利用いただいております。特に、佐渡においては、農業が島の経済に及ぼす影響が大きく、JAは地域農業の維持発展を通して地域に貢献していくという「**農業メインバンク**」として社会的責任を担っております。

また、年金相談会の定期開催や、融資センターでの平日の営業時間延長や土日の融資相談など利便性の向上、各地域におけるキャッシュサービスコーナーの設置など、地域の皆様のくらしの支援活動に取り組みながら佐渡における「**生活メインバンク**」として機能発揮に努めております。

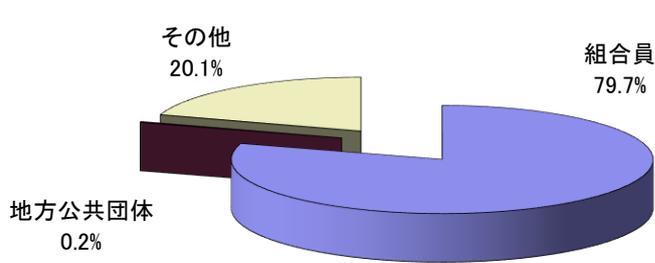
### 地域からの資金調達の状況(令和5年8月末)

組合員・地域のご利用者の皆様に信頼され、大切な財産(貯金)をお預かりしております。

(単位:百万円)

種類	残高
組合員	90,520
地方公共団体	240
その他	22,784
合計	113,544

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。



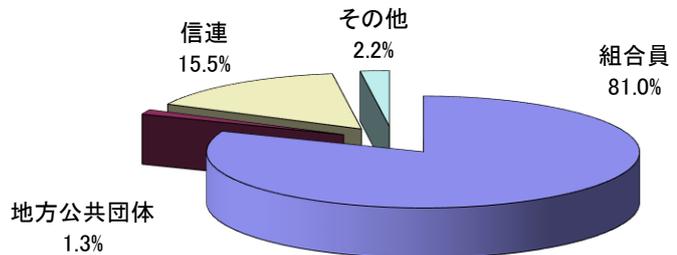
地域への資金供給の状況 (令和 5 年)

8 月末)

組合員の皆様をはじめ、地域の皆様に必要な資金をご融資し、地域経済の発展に貢献しております。

(単位:百万円)

種 類	残 高
組 合 員	8,796
地 方 公 共 団 体	147
信 連	1,680
そ の 他	234
合 計	10,857



## 農業メインバンク機能強化への取り組み

地域密着型金融機関を基本として、令和 5 年 3 月から農業融資専任担当者を増員し 2 名体制とし農業者・法人への訪問活動を実施し、ご融資の相談に応じる態勢を整えております。あわせて営農指導員等他部門と連携した相談機能の充実をはかっており、令和 5 年度を初年度として農事組合法人への担い手コンサルティングを導入し、経営支援を行っております。こうした活動を円滑に実施するため「農業経営アドバイザー」の資格取得を促進し、農業者に対する適切な資金対応ができる農業融資担当者の育成をはかっております。また、J Aグループ新潟およびJ A独自の利子助成制度による農業者の実質負担金利の軽減をはかるなど、農業者支援の取り組みを行っております。

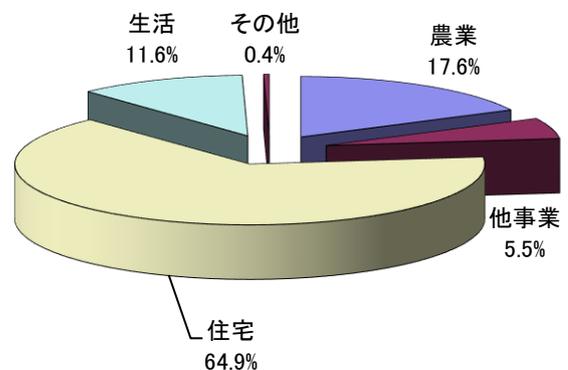
## 貸出金の資金用途別等の残高

〔貸出金〕

(単位:百万円)

種 類	R4 年 8 月末	R5 年 8 月末
農 業 資 金	1,647	1,590
そ の 他 事 業 資 金	450	500
住 宅 関 連 資 金	5,544	5,863
生 活 関 連 資 金	1,010	1,042
そ の 他	195	35
合 計	8,848	9,030

地方公共団体、信連貸付の残高を除いています。



## 自己改革の取り組み

※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

J A 佐渡は農業・地域を支える組織として、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの自己改革目標を掲げ取り組んでいます。農業振興策の推進にあたっては、「組合員との対話」を基本に取り組んでいます。今年度上期の状況について関連する主な取り組みを中心に報告します。

#### ◆農業振興等に関する取り組み

水稲では、1等米比率90%以上、反収510kgの達成を目指して、おいしい佐渡米研究会で研究・検討を行いながら、土づくり資材の普及と気象状況を踏まえた栽培管理の徹底により高品質・良食味米生産と反収向上に取り組んでいます。目標の達成に向けて、営農担当者が生産者を個別に訪問し提案活動を行っています。

園芸では、地域農業戦略に沿って地区営農委員会を中心に振興プランを作成し、柿・アスパラガス・みかん等の生産拡大に取り組んでいます。

柿の収量向上については、おけさ柿指導員と連携し全園地の調査を実施し摘蓄管理の確認と生産者へ個別訪問を実施し収量目標等を共有しました。

畜産（肉用牛）では、約580頭にまで和牛繁殖雌牛が増頭し、4月及び7月の高千家畜市場に子牛242頭が上場されました。畜産（酪農）においては、搾乳頭数平均128頭で、猛暑等の影響により6・7月には乾乳牛が増え搾乳頭数が減少し生乳供給が大幅に減少しました。

佐渡農業の担い手確保の取り組みとして「J A 佐渡就農研修制度（J A 職員として働きながら3年後の就農を目指す制度）」をスタートし、現在、8名の研修生が管内で研修しています。

#### ◆経営改善の取り組み

経営の合理化・効率化を目指し、経営の課題や事業の進め方について経営改善委員会での検討を継続しています。特に、経済事業の収支改善を中心に具体的な経営改善案の検討を進めています。

#### ◆組織基盤強化の取り組み

正組合員数が減少する一方、准組合員は増加しています。ホームページやメール配信による情報提供を行いながら引き続き組合員加入を進めています。アンケート調査や懇談を通じ、ニーズの把握に努めながら事業利用拡大につなげます。

## これからも地域と共にあるJ Aを目指して

当J Aでは、営農・金融事業のほかにも各種事業活動やグループ会社の活動を通じて、組合員をはじめ地域住民の暮らしの応援を行っています。

◇Aコープ店 : 食料品を中心とした「くらしの拠点」として、各地区に7店舗、佐渡総合病院に売店を設置しております。地場産農産物の販売などで、地域のくらしと農業生産活動の橋渡し役として店舗運営を行っています。

◇農産物直売所 : J A直営直売所「新鮮空間 <sup>や</sup> <sup>せい</sup> <sup>せ</sup> <sup>い</sup> <sup>か</sup> <sup>舎</sup>」と「菜 <sup>せい</sup> <sup>き</sup> <sup>て</sup> <sup>屋</sup> <sup>ま</sup> <sup>の</sup>」、Aコープ各店でのインショップ方式による産直コーナーを通じて、農家の皆様と一緒に地域の消費者へ安全、新鮮な品物をお届けしています。

◇セレモニーホール: 増加するホール葬需要に応えるために、グループ会社の運営により島内2か所にセレモニーホールを設置しております。また、自宅葬や出張葬



写真：農産物直売所「新鮮空間よらんか舎」  
※記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

など幅広いニーズへの対応を行っております。

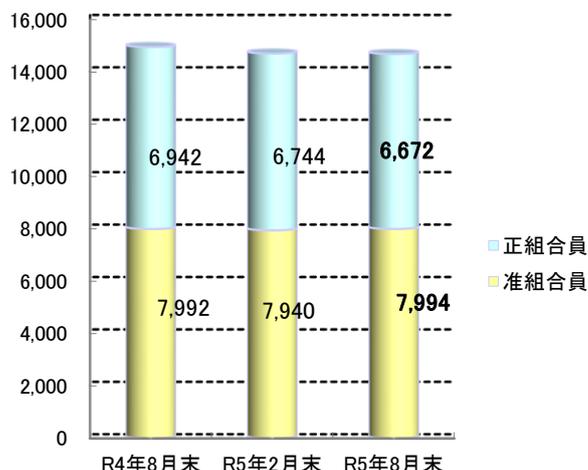
◇セルフスタンド：本土に比べ高い島内のガソリン等の価格の引き下げの牽引的役割として、セルフ方式のガソリンスタンドを島内3か所に設けております。

★このようにJA佐渡は組合員、地域の皆様の営農とくらしに密着した様々な事業とともに、組合員加入運動に取り組んでおります。

### 組合員数の推移

(単位:組合員数)

	R4年8月末	R5年2月末	R5年8月末
正組合員	6,942	6,744	6,672
准組合員	7,992	7,940	7,994
組合員計	14,934	14,684	14,666

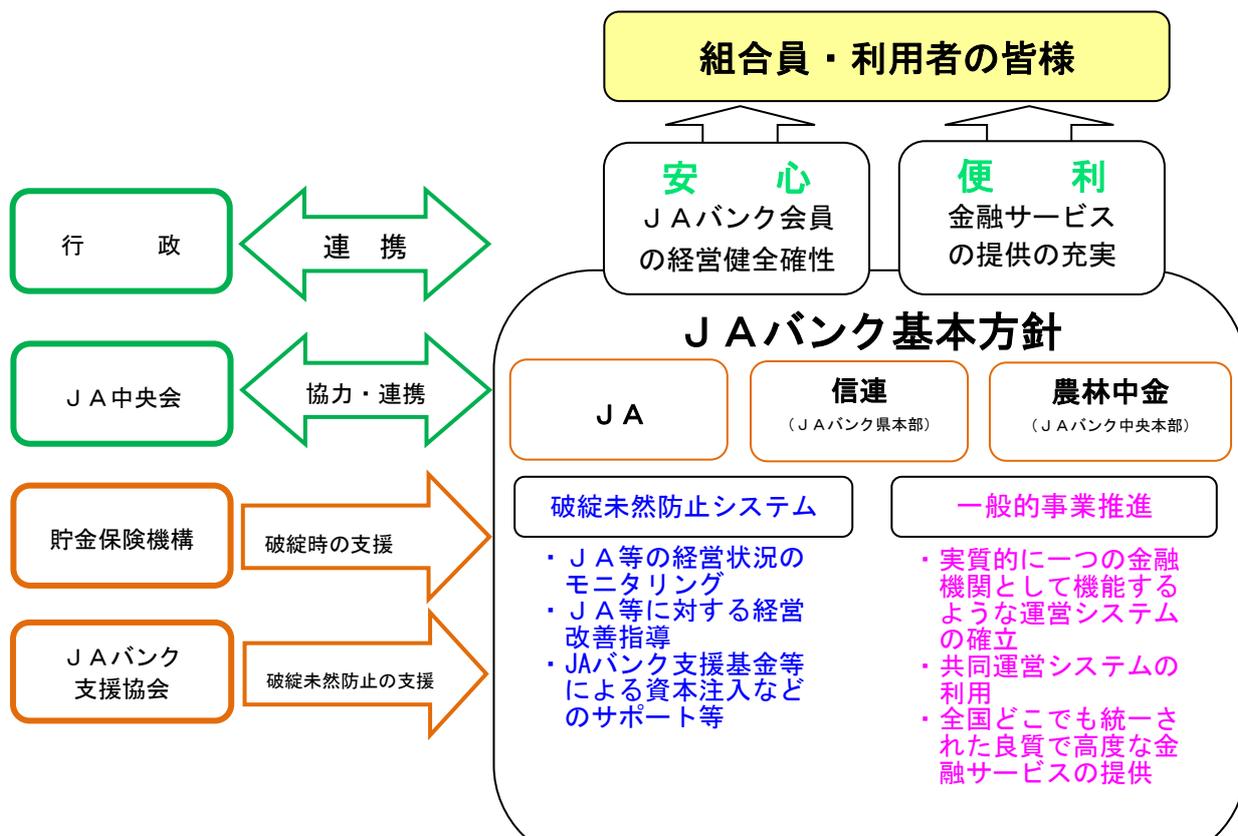


皆様の大切な貯金を安心バンク、JAバンクが守っています。

## JAバンクシステム

JAバンクは、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）で構成するグループの名称であり、組合員・利用者みなさまに便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員が一体的に取り組む仕組みを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を活かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業推進」の2つを柱で成り立っています。





## JAバンク・セーフティーネット

### 破綻未然防止システム



### 貯金保険制度

- 全国のJAバンクが協力して個々のJAを支援する、独自の制度である「相互援助制度」を一層充実・強化しています。
- 「破綻未然防止システム」とは、JAの経営状況のチェック（モニタリング）、経営改善への取り組み、「JAバンク支援基金」によるサポートを行う仕組みです。

- 貯金者を保護するための国の公的な制度で、貯金保護の範囲は「預金保険制度」と同じです。
- 貯金業務を取り扱う全てのJA・県信連・農林中央金庫などが加入しています。



佐渡農業協同組合

編集 佐渡農業協同組合 総務部

〒952-8502

新潟県佐渡市原黒300番地1

TEL 0259-27-6161

FAX 0259-27-6170

Eメール [kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp](mailto:kikakuka@ja-sado-niigata.or.jp)

ホームページ <http://www.ja-sado-niigata.or.jp/>

JA佐渡

検索

